

3月11日に発生した東日本大震災に対する現在の支援内容をお知らせします。

●本町に避難している方へ

道では、被災などにより避難された方の把握を行い、避難者に対する適切な情報提供や暮らしの支援を行うため、避難者サポート登録制度「ふるさとネット」を開設しています。

本町に避難されたすべての方が登録することができ、避難前のお住まいの県や市町村からのお知らせをお届けできるようになります。

■登録先・問い合わせ／役場
住民課町民係（1階①番窓口）
☎485-2111内線124

※登録は、各公民館でも行っています。



●義援金の受け付けについて

本町では、「東日本大震災義援金」の受け付けを引き続き行っています。

日本赤十字社を通じた義援金の窓口は左記のとおりです。

■義援金名称／「東日本大震災義援金」

■募集期限／9月30日（金）

■受付方法

①直接振込される方

●郵便振替

（振込手数料免除）

●口座番号：

00140-8-507

●口座名義：日本赤十字社

東日本大震災義援金

※口座名義は正確に記入ください。

※郵便局窓口での取り扱いは

場合振込手数料は無料です。

※振込用紙の半券は受領書と

兼用です。

②窓口に参加される方

役場住民課社会福祉係

（1階②番窓口）☎485-2111内線122

※各公民館においても受け付け

していますが、受領書につ

いては即日交付できない

場合もありますので、ご了承

ください。

■義援金を受け付けている施設

●役場住民課社会福祉係

●各公民館

●各公民館

ひとつになろう

8月19日現在義援金累計 9,336,069円（日赤標茶町分区受付分）
標茶町東日本大震災支援対策担当 役場総務課交通防災係（2階⑫番窓口☎485-2111内線213）

★非常持ち出し品を確かめましょう

避難に備えて、日ごろから非常持ち出し品を点検しておきましょう。

| | | |
|---|--|---|
|  懐中電灯 |  携帯ラジオ・予備乾電池 |  救急セット |
|  飲料水 |  非常食 |  衣類・下着類 |
|  タオル |  貴重品 |  ロープ |

★避難時の心得

- ①安全な避難路の確認を 
- ②非常持ち出し品の事前準備を 
- ③自主的に避難準備を 
- ④避難の呼びかけに注意を 
- ⑤避難する前に... 
- ⑥お年寄りなどの避難に協力を 
- ⑦動きやすい格好、2人以上の避難 

●避難時に備えておきましょう

もし地震が起きたら

7カ条



地震を正確に予知することはとても難しいことです。いつ地震が起きても慌てないように、大地震が起きたらどうしたらいいか、日ごろから準備をしたり家族でよく話し合っておくことが大切です。

地震が起きたら、まず自分の身を守りましょう。また、いざというときにどうしたらいいか覚えておきましょう。

各地区の避難施設については、役場ホームページ（アドレスは30ページ参照）をご覧ください。

1 まず身を守りましょう

テーブルや机などの下にもぐったり、座布団などで頭を守りましょう。倒れやすい家具のそばから離れましょう。外出中に地震にあったら、かばんなどの持ち物で落ちてくるものから頭を守り、ブロック塀や倒れている電柱や電線など危険なところから離れましょう。

2 もし火が付いていたら消しましょう

小さな揺れでも、火を消す習慣をつけましょう。地震で怖いのはその後に発生する火災です。火災で命を落とさないためにも心掛けましょう。

3 窓や戸を開けておきましょう

地震でドアがゆがんで、開かなくなることがあります。いつでも逃げられるように地震が起きたら、窓や戸を開けるようにしましょう。

4 慌てて外に飛び出さない

地震のときに慌てて外に飛び出すと、窓ガラスなどが落ちて怪我をすることもあります。外に出るときは気を付けましょう。また、部屋の中でも割れたガラスで怪我をすることがあります。スリッパや靴を履きましょう。

5 家族の安全を確認

家族の安全を確認したら、隣り近所の人々の安全も確認して、助け合いましょう。

6 決められた場所に避難するとき

避難する前に電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。電気やガスは火災の原因になります。必ず確認しましょう。

7 正しい情報を聞きましょう

ラジオやテレビ、標茶消防署・役場などからの情報を聞くことができるように携帯やラジオなどを備えておきましょう。